

組合員専用WEBページ



2024年1月15日より

開設します!!

専用パスコードを「けんせつ神奈川」2024年1月号に掲載します



神奈川土建一般労働組合機関紙

神奈川土建ホームページ 神奈川土建 検索

発行所
 神奈川土建一般労働組合
 〒221-0045 横浜市神奈川区
 神奈川2-19-3
 建設プラザかながわ
 ☎045(453)9806(代表)
 発行人 西川 智幸
 編集人 古溝 潤
 定価60円
 (神奈川土建の組合費には上記紙代を含む)

10・6生活危機突破集会

物価高騰から県民の仕事とくらしを守ろう

なくすな保険証!! 上げよう賃金

プラカードを手にアピールパレード



インボイス廃止! 軍拡増税を許すな

神奈川土建が加盟する神奈川県建設労働組合連合会は10月6日、圧倒的な賃上げと保険証廃止反対などを求めて関内ホールで生活危機突破集会を開催しました。集会終了後に要求プラカードを掲げてアピールパレードを行い、仲間から託された請願書名を県庁に提出しました。

資材物価、ガソリン価格の高騰により、仲間の仕事とくらしをめぐむ状況は日々厳しさを増しています。大手建設資本が掲げる賃上げ方針は下請の私たちに届いておらず、インボイス制度の導入により、非課税事業者は取引から除外される恐怖におびえています。また、マイナ保険証への一本化政策により、私たち

の命綱である建設国保の保険証が取り上げられてしまふ危機に直面しています。また、大軍拡と子ども・子育て予算の倍増に必要な財源に消費税増税が狙われています。一人ひとりで弱い立場にある労働者から搾り取ろうという悪だくみが透けて見えます。仲間の切実な要求は労働者、生活者の権利を補

償する当然の願いであり、決して過大な恩恵を求めている訳ではありません。額に汗して働いた技能者が受け取るべき正当な報酬が減額され、すり切れるまで働かされる現状をそのまま放置していたら、建設産業の未来は決してありません。物価高などで厳しい生活を強いられている国民をよそに、財界とアメリカのご機嫌ばかりうかがう岸田政権に不満が噴出していきます。政権選択選挙に勝利し、政治を国民の手に取り戻さなければ、巧妙に仕組まれた悪のループを断ち切ることはできません。

仲間の声を県に届ける

個人請願署名2万1140筆を提出

アピールパレードでは「なくすな!健康保険証」を統一テーマにしたデモレーションコンクールが開催され、色とりどりに仮装した行列が秋晴れの街道を行進しました。神奈川土建本部はハロウィンの衣装に身を包み「お化けより怖い保険証廃止」を叫びました。厚労省の社会保障審議会医療保険部会は9月29日、マイナ保険証を医療機関の窓口で用いた際に本来の自己負担割合と異なって表示される事例が

全国で5695件に上ったと発表しました。厚労省は間違った金額の請求があった可能性は否定できないとしながらも、最終的なレセプト審査では正しい負担割合で処理されていると聞き直りました。患者と医療機関の信頼関係を崩しかねない事態への認識不足が大いに批判されました。トラブル続きで完全に国民の信用を失ったマイナ保険証の利用率は、ついに5%を大きく割り込みました。



請願書名を県に提出

業は、加速する少子高齢化のなか人手不足が深刻化しており、資材高騰など厳しい経済環境が事態をより悪化させています。建設労働者・職人の賃金引き上げと処遇改善をすすめる取り組みは待ったなしの課題です。私たちは神奈川県24年度予算の編成に当たって、地域建設業者の事業継続と建設技能者の雇用確保のために多面的な支援を求めています。夏は暑さで食欲不振になる人が多い一方、秋になると涼しくなり、低下していた食欲が回復するため、食欲が増したように感じるので

川崎西支部 教宣部長
 安川 宗 記

持続可能な建設産業の実現を 100万人国会請願署名を成功させよう!

全国建設労働組合総連合は9月に開催された第5回中央執行委員会で「持続可能な建設産業の実現に向けた100万人国会請願署名」に取り組むことを確認しました。2003年に行った「建設国保の育成に関する請願」以来、20年ぶりの請願採択を目指すと共に、来年5月に署名提出集会の開催をします。

建設産業は欠かすことのできない基幹産業である一方、長時間労働、低賃金から若者の入職につながらず、産業の維持が困難な状況です。現場労働者の圧倒的な賃金・単価の引き上げと労働時間の短縮を実現しなければ、この危機を打開することは出来ません。

全建総連は、10月4日に100万人国会請願署名の成功に向けて、オンライン学習会を開催し、全国から455人の仲間が参加しました。魅力ある産業への転嫁により、担い手の確保と育成を進めるため、署名100万筆を必達目標に、全国会議員の半数超の紹介議員400人以上をやり遂げよう。特に国会議員については、党派を超えた協力を取り付けることが求められており、あらゆるつながりを余すところなく追及しなければなりません。今こそあなたの力が必要です。

大安吉日

秋と言えば「食欲の秋」とよく耳にしますが、なぜそのように言われるようになったのか、ご存知でしょうか。言葉の由来には諸説ありますが、秋は様々な食材が旬を迎え、美味しいものを食べる機会が増すというのが最も有力な説とされています。昔はビニールハウス栽培が行われていなかったため、収穫した野菜は旬の時期にしか食べることができませんでした。収穫物の多い秋は、他の季節よりもたくさん食べ物があふれるため、「食欲の秋」と呼ばれるようになったようです。▼秋は立秋から立冬の前日までを指し、天文学的には秋分から冬至までです。現代の暦では9月5日11月までが秋です。しかし、9月はまだ残暑があり、食欲がわかない方も多いでしょう。過ごしやすいくれ候で食事が摂りやすく、秋の食材が旬を迎える10月11月頃が「食欲の秋」と言えるのではないのでしょうか。▼秋に食欲が増すのは、過ごしやすいくれ候が影響していると考えられています。夏は暑さで食欲不振になる人が多い一方、秋になると涼しくなり、低下していた食欲が回復するため、食欲が増したように感じるので

第78回 企業交渉 安全対策と処遇改善を迫り 仲間の命と健康を優先した工期設定を!

全建総連・関東地方協議会連絡会は10月19・20日を中心に、ゼネコン28社、住宅企業8社、サブコン4社の計40社と第78回大手企業交渉を行いました。交渉に向けて280の現場情報が仲間から寄せられました。23年賃金アンケートの集計結果は、依然として横ばい状態であり、業界団体が進める賃金5%上昇目標の実感は、物価高騰も重なり得られていません。元請企業全社に技能労働者の大幅な処遇改善と安全対策徹底を求める交渉となりました。

春に引き続き、物価高騰・資材高騰の中で交渉となりました。下請事業者がエネルギー価格や原材料費、労務費などを適正に請負単価に転化するための再協議、抜本的な単価引き上げと技能労働者の賃金引き上げ策を求めました。あわせて下請にしろ寄せがいかない工期設定や4週8閉所、CUS普及、建退共促進を要請しました。



竹中工務店と交渉する荒井団長(中央)

会社が提唱する年収600万円を達成する実効策を強く求めました。仲間の追及に対し、下請間と直接雇用している事業所の問題を持ち出して交渉を混乱させる企業もあり、元請事業者として業界を発展させていく姿勢を疑いたくなる場面もありました。私たち労働組合は、技能労働者が育つていく環境、処遇を整える責任が元請企業にあると再三再四にわたって追及をしていますが、引き続きこの点を強調して担い手確保・技能継承の要求を強く求めています。

安全対策の問題では、東京・八重洲死傷事故を起した大林組に対し、その責任と直接的な原因究明、根本的な原因究明を明らかにするよう厳しく糾弾しました。大林組からは事故を起してしまつたことへの謝罪と今後の調査とその対応が述べられました。現在も調査中であること口実に事故原因の詳細報告は時期を見て公表していくとの回答に留まりました。来春以降の交渉も引き続き、賃金単価引き上げを中心とし、その具体策を求める交渉を実施していきます。

第78回大手企業交渉【大手建設5社速報】

【大林組】

東京・八重洲事故に関しては今後も工が続いており、待機費用の支払いについては1次協力会社と協議の上で対応していく。事故原因については可能な限り公表していく。今回のような事故を二度と起こさぬよう最大限努力していく。労務費確保についての取り組みについては標準見積書の活用徹底を実施している。

【鹿島建設】

法定福利費の内訳明示について1次を通して最下請まで指導している。八重洲事故の件は社内でも共有し現場でも周知、各支店長とも共有した。協力会社からの意見、不満を聞き取れる環境を目指している。

【清水建設】

朝、全現場でリスクアセスメントを実施している。

優良職長手当を拡充して日額で500円〜1万円を増額やした。2次下請以下の適正労務費・法定福利費は見積りに明示するよう徹底している。重層下請の解消対策は3次下請けまでが全体の95%に達した。4週8閉所は公共現場ではほぼ達成。日建連が作成した発注者向け「建設資材高騰・労務費の上昇等の現状」パンフレットを活用して粘り強く価格交渉している。顔認証システムを全作業場で実施。建退共電子化の対応は公共2現場で実施。

【大成建設】

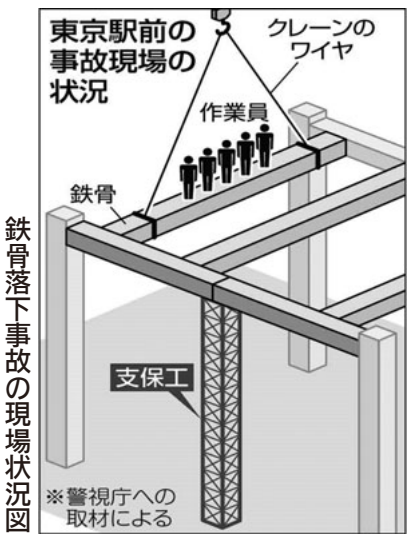
スライド条項については2次以下に十分に周知できていない。

【竹中工務店】

労務費の確保に取り組んでおり、法定福利費は全額支払っている。4保険の加入状況によって減算等は行っておらず、下請け会社に対してHP上で当該の考え方を明示している。4週8閉所は社内でも鋭意取り組んでいるが実績値は31・1%と苦戦しているのが現状。工期の延長については施主の理解を得ることが難しいが、工事を受注する段階で4週8閉所を前提に設定している。

東京・八重洲の鉄骨落下事故 国への聞き取り実施

JR東京駅近くのビル建設現場で起きた鉄骨落下事故について、組合は元請である大林組と大成建設に対し、書面で事故原因の究明とその原因の公表を求め要請を行いました。幹事会社である大林組からは、国内全ての現場で安全の再点検を行い、再発防止策の公表を求めていると回答がありました。



神奈川土建は10月13日、参議院会館内で厚労省・国交省担当者から現状の聞き取りを行いました。両省とも事故原因の究明について捜査中であり、現時点で対応や対策を明言できることはないと言えましたが、安全を揺るがす極めて重大事故であるというところは組合と同じく共通の認識を持っていくとの見解を示しました。国交省からは事故後、大林組に

対し遺族への対応を誠実にするよう指導を行ったとの現状報告がされました。首都圏の組合では10月19・20日に大林組を含む大手ゼネコン約30社と交渉を実施、この事故について単一の問題とせず、安全より工期・工程を優先する建設作業全体の問題であることを強く要請。抜本的な処遇改善と安全対策徹底を行わなければこの業界に入職する若者はいなくなることを主張し、発注者側とも協議するよう求めました。

迫力の建前でフェスタに華【横浜緑】

4年ぶりの開催となった建設フェスタの目玉は建前です。若手組合員さんの提案でスタートした企画でしたが、事前準備は紆余曲折したままフェスタ前日を迎えました。しかし、生みの苦しみから一変、大勢の組合員さんが建前の手伝いに集まってくれました。餅まきには沢山の子ども達が駆け寄り、職人さんカッコいい!とお菓子を抱えて大喜び。アイドル活動をしている組合員のお嬢さんもステージ出演するなど大盛況の日でした。



大好評の建前と餅まき

3千人でどけん祭り【横須賀三浦】

実に4年ぶりとなる第19回どけんまつりをヴェルニ公園で開催しました。当日はあいにくの曇り空でしたが、約3千人の来場者が集まり大いに賑わいました。各分会主催の模擬店では、定番の食品から建設組合ならではの丸太切り体験など、色とりどりの店舗が軒を連ねました。隣り合った分会と交流したり、普段なかなか顔を会わせることができないうち間と語りあったり、終始賑やかなムードでた



団結ガンパローで達成誓う

くさんの笑顔がはじけました。どけん祭りのクライマックスは、大槻副委員長による団結ガンパロー三唱で組織拡大目標の達成を誓いました。



胸を張って先代に負けない仕事をしたい

んでした。しかし、青年部での活動を通して他職種の仲間とつながる機会が増え、専門的な知識や興味深い話題に触れることが視野を広げることができました。何かあった時でも頼れる神奈川土建という場所があるという安心感を実感し、少しず

と社長を支えられるような存在になることで、のちのち代替わりした時に先代と比較されも信頼を損ねないように、胸を張って元請けさんからお仕事をもらえるように信用を積み重ねていきたいと意気込みを語ってくれました。

そんな佐久間さんは7月に長女が誕生し、ますます仕事に励む活力がわいているそうです。元氣いっぱい佐久間さんは青年部の活動には参加して間もないですが組合を盛り上げられるように頑張っていきたいと語ってくれました。



横浜支部
佐久間 涼さん
29歳 (ガス配管工)

横浜支部で青年部員として活動している佐久間涼さんは神奈川土建に入社して9年目を迎えます。

す。神奈川県横浜市で生まれ育ち、中学生の頃はバドミントンに熱中して長年の趣味となるスケートボードに出会いました。現在は愛車のトヨタ86に手を加えるなど趣味

の幅も更に広がっています。高校を卒業して臨床検査技師の道を目指しましたが悩みは尽きず、目標を見つけれずいたところ、父親が経営する会社で頑張ってみないかと

声を掛けてもらったことが建設業に携わるきっかけです。今でも父親には感謝の気持ちでいっぱいです。就職と同時に神奈川土建に加入しましたが、正直言って実感は有りませ

つ組合員としての自覚が湧いているそうです。建設の仕事をしていて一番喜びを感じる瞬間は、辛い現場であっても職人同士が協力して仕事やり遂げた時とのこと。これからの目標は、良いメンバーに恵まれ、親密に結びついている会社の仲間

米空母横須賀配備から50年 横須賀を出撃拠点にするな!

原子力空母いらない!横須賀集会所が10月1日、横須賀支部ヴェルニ公園で開催されました。米海軍横須賀基地に空母が初めて配備されてから今年で50年を迎えます。空母艦載機の墜落や騒音被害をまきちらし、今も平和と安全を脅かしています。

米横須賀基地に空母が入港してから半世紀がたちました。世界で唯一の空母の海外母港という、異常な状態は今も放置されたままです。米海軍は11隻の空母を保有してい

ますが、横須賀に配備されているロナルド・レーガンを除く全てが米本土に母港を置いています。横須賀には空母の他、第7艦隊の旗艦やミサイル巡洋艦、ミサイル駆逐艦など計13隻が配備されています。また、岩国基地には艦載機が置かれ、米海軍の威嚇行動の一大拠点となっています。

よこちゃん & むっくんが行く やっぱり群会議

副委員長 常任中執

横浜緑支部 藤が丘分会・合同群会議



賑やかな会議風景

今回は横浜緑支部の藤が丘分会で行われている合同群会議に参加しました。

た。千草台クラブという自治会館が会場で、中に入るといくつもテーブルが分かれていて、各群の会計さんが待機する場所、署名を記入するテーブル、健康チェックのコーナーに分かれています。健康チェックのコーナーは

かで、みんなが協力し合ってワイワイガヤガヤと笑顔がこぼれ、活気が伝わってくるようです。6つの群の合同群会議です。一方、役員さん曰く「毎回ドタバタしていて、読み合わせとかできていないのが課題」と話します。

副委員長の川口さんのおひき元で開催される群会議、本部主婦の役員会の町屋さんと齋藤書記も参加して組合員に対応していました。今日は新加入の組合員が初めて会場に訪れたため、事務所

対応した齋藤書記が素早く川口さんにつなぎ、納入方法や組合のことを丁寧に説明します。最近では、健康チェックを手伝ってくれる組合員も出てきて、ますます賑やかな合同群会議に成長しています。

この会場で住宅デーも開催しており、自治会館の塗装工事や建て替えまで依頼される信頼関係が築かれています。地元密着の取り組みを目指す分として、思いがけないことに発展してきました。をみんな喜んでいきます。

とても賑やかな会議風景。健康チェックのコーナーは、副委員長の川口さんのおひき元で開催される群会議、本部主婦の役員会の町屋さんと齋藤書記も参加して組合員に対応していました。今日は新加入の組合員が初めて会場に訪れたため、事務所



米横須賀基地に抗議。集会所で情勢報告に立った山添拓参院議員は、原子力空母の出港が7回も延期され、原子炉トラブルを心配する声に外務省はまともに理由を説明しないと批判しました。



実増で周年行事を迎えよう(西相)

根府川なみのこ村で開催したどけん祭りに350人の仲間が集い、秋の拡大目標の突破を目指して決意を固めました。晴天の下、大いに仲間との交流を深めました。

どけん祭りで絆深める(座間海老名)

座間谷戸山公園で開催したどけん祭りに約200人の仲間と市民が駆け付け、互いの親交を深めました。この祭りは仲間同士のつながりを「強く、広く、深める」レクリエーション活動と位置付けて企画されました。これまで組合のイベントに参加していなかった仲間が積極的に声を掛け、昨年を10人上回る70人の仲間が参加しました。新しい顔ぶれとの交流の機会を得て、更なる発展に向けて確信を

青年部主催ストラックアウト

青年部主催のストラックアウト大会が行われ、好評のうちに祭りを終えました。実感する催しとなりました。この他、子育て家族向け企画として、工作教室やストラックアウト体験が行われ、好評のうちに祭りを終えました。

福島 現地視察

12年が経過した 福島第一原発事故を考える

賃金対策部部長 後藤 満夫

原発事故関連の 従事者と懇談

10月3、4日の2日間、建設首都圏共闘会議による福島視察に参加した。今年には日程の都合で福島第一原発の現地視察が組めなかったため、1日目はいわき市労連懇談、原発事故後の除染作業や原発収束処理作業に直接従事者からの聞き取り、勿来(なごそ)漁協組合長との懇談を行いました。

いわき市労連の議長からは、東京電力や国のあいまいな方針に労働者が振り回される実例が報告されました。事故後の初期除染作業に四次下請の労働者として従事し、白血病を発症した方の事例では、放射線管理手帳に作業記録が全く記載されておらず、労災不支給となっていました。ALPS処理水放出については、24年3月までにタンク31基分の放出を進める計画ですが、その期間内に21基分の新たな汚染水が発生し、実際は10基分の放出に留まることを知りました。また、

原子力規制委員会前委員長が「放出する処理水の濃度を3倍に上げ、30年の放出期間を10年にする問題ない」との不用意な発言に対し、多くの被災者が深い憤りを感じているとの報告を受けました。

勿来漁協組合長との懇談では「本心では汚染水を流して欲しくないが仕方が無い」としながらも、風評被害を恐れる漁業関係者の立場では「汚染水ではなく処理水と呼んで欲しい」と苦しい胸の内を訴えました。

帰宅困難区域 解除後も住民戻らず

視察2日目は、東京電力と交渉、大熊町・双葉町役場と懇談を行いました。

今月のテーマ

股関節のやわらかさを取り戻す

股関節は多くのじん帯や筋肉があり胴体と足をつなぎ、体重を支えるという重要な役割を担っています。その分多くの負担がかかりやすくケアを怠ると固まりやすくなります。

股関節が固まると血行が悪くなり、むくみ、腰痛、肩こりなどの原因になります。さらに動かさないと姿勢が悪くなり、歩行時に足が上がりにくく思わすつまづいたり作業中の怪我につながり

とにかく動かし のばす

股関節の柔らかさを維持するにはストレッチが大切です。まずは前屈や開脚を試みて以前よりも痛みが強く、開きが悪くなつたと感じる場合は、股関節が凝り固まっている証拠です。ストレッチを行うタイミングです。反動をつけずにゆっくりのばしましょう。呼吸は止めず、痛みがある場合は一歩手前で止めて無理せずに行いましょう。日々続けること

疲労回復力も アップ

身体の中心の筋肉が柔らかくなることで、下半身の血流がよくなり疲労回復にもつながります。一般的には左右45度ずつ、合計90度開脚が出来る状態であれば股関節の柔軟性があると言えます。まずは90度を目安に続けていきましょう。股関節のやわらかさを取り戻してパフォーマンスをアップしましょう。



廃炉資料館を見学する視察団

東京電力は双葉町に建設した廃炉資料館で、事故を起こしたお詫びと被害を被った方々へ謝罪する映像を放映しています。しかし、交渉の場では廃炉作業の進捗について明確な回答を避ける一方で、漁業関係者の不安をよそにALPS処理水の海洋放出を着々と進める立場を崩しませんでした。被災者の声を一顧だにしない態度は、重大事故を起こした当事者として責任を果たしているとは到底言えません。

小中一貫の教育施設が開校し、約12年ぶりに町内で教育活動が再開されたことが報告されました。同施設には現在31人の園児と生徒が在籍し、芝生化された校庭で元気づけ遊んでいるそうです。

原発被災地では様々な支援や補助が進んでいる一方で、それにより生じた地域格差によって県民同士の対立や心のしこりが生まれている負の一面があることを知りました。また、ALPS処理水放出に伴う風評被害に漁業関係者が抱える不安や事故直後の瓦礫撤去・除染作業に従事した労働者に行われた人権侵害が大手ゼネコンの管理下で無視されてきた実態を当事者から直接聞くことが出来ました。原発被災地の視察で得た学びを持ち帰り、様々な運動に活かしていきたいと思えます。



市川可奈子保健師の

健康の

ススス

股関節の柔らかさを維持するにはストレッチが大切です。まずは前屈や開脚を試みて以前よりも痛みが強く、開きが悪くなつたと感じる場合は、股関節が凝り固まっている証拠です。ストレッチを行うタイミングです。反動をつけずにゆっくりのばしましょう。呼吸は止めず、痛みがある場合は一歩手前で止めて無理せずに行いましょう。日々続けること

技術センターだより

資格講習会のご案内

- 神奈川土建の講習**
- 低圧電気取扱業務 特別教育 (受講料: 8,000円、休憩を除く8時間講習) 11月26日(日) 会場: 川崎市教育文化会館
- 職長・安全衛生責任者教育 (受講料16,000円、休憩を除く14時間講習) 2024年2月18日(日)~19日(月) 会場: 建設プラザかながわ
- 有機溶剤作業主任者技能講習 (受講料: 14,000円、休憩を除く13時間講習) 2024年3月17日(日)~18日(月) 会場: 建設プラザかながわ

- 足場の組立て等 特別教育 (受講料: 7,000円、休憩を除く6時間講習) 12月5日(火) 会場: 建設プラザかながわ
- 石綿作業主任者技能講習 (受講料: 10,000円、休憩を除く12時間講習) 12月6日(水)~7日(木) 会場: 建設プラザかながわ
- 足場の組立て等作業主任者 能力向上教育 (受講料: 8,000円、休憩を除く7時間講習) 2024年1月23日(火) 会場: 建設プラザかながわ
- フルハーネス型安全帯使用作業 特別教育 (受講料: 8,000円、休憩を除く6時間講習) 2024年2月2日(金) 会場: 建設プラザかながわ
- 木造建築物の組立て等作業主任者技能講習 (受講料: 10,000円、休憩を除く14時間講習) 2024年2月4日(日)~5日(月) 会場: 建設プラザかながわ

その他の提携講習機関
 nextPCT (旧: IHI技術教習所) コマツ教習所
 PEO建機教習センター (旧: 日立建機教習センター)
 日建学院 総合資格学院 技術技能講習センター
 等、詳細は各支部窓口にお問い合わせください。

青年部マル得援助金のお知らせ
 青年部加入者の「マル得援助」の対象に「マル得資格取得祝金」に対応する国家資格等の受験料も加わりました。受験料の払込証または領収書を添付して申請を行ってください。

申し込み、問合せは所属する支部事務所へ
 ☆写真1枚(縦3cm×横2.4cm)を用意。無帽、無背景、上三分身、頭髪を含め顔、体を写真内に収める。(顔、髪、顎の見切れは受付不可)
 ☆公的機関の発行した身分証明書で氏名・住所・生年月日の確認をします。
 ☆日程変更や中止になる場合もありますのでご注意ください。
 ☆無断欠席、当日のキャンセルによる受講料の返還には応じかねます。
 ☆募集の締切りは開催日2週前の平日です。申請書・写真・添付資料、受講料を準備して支部で申し込みをし、支部・単組は速やかに当センター提出してください。
 ☆作業主任者講習、職長・安責教育、準備講座、JW-CADの申し込みには、労働者の場合は雇用保険被保険者資格取得等確認通知書、一人親方は労災保険加入証のコピー添付と、番号の申請書記入。また、最終学歴の記入をお願いします。

神奈川建設労連の講習

- ※支部を通じて神奈川県連に申込みして下さい。
- 型枠支保工の組立て等作業主任者技能講習 (受講料: 10,000円、休憩を除く14時間講習) 11月21日(火)~22日(水) 会場: 建設プラザかながわ